

### 漢字はどんな順番で並んでいるか？

大きくは漢字の提出学年順に分類されています。各学年の中では「音読み」の「あいうえお」順に並べてあります。ただし、中学生以降(続・楽しい漢字教室)の中はそうではありません。提示された漢字と同じ部品(同じ部首)が使われ、縁が深いもの同士が纏まって見えるよう、互いに近くに提示しています。しかし、例えば単純に同じ「偏」の漢字を並べるより、意味と発音を同時に示すような「旁」で纏めることが優先されています。此の辺りの解説が詳しく書かれていないので、編者(石井峻)の文責で示しました。

### 見出しの漢字はどうしたら見付かるか？

「漢字の並び順」の説明から気付かれると思いますし、本文の「はじめに」でも石井勲博士が勧めておりますように、本を読むように頁を順に送って読むと漢字の理解が深まります。しかし、急いで調べたい時には真直ぐ目的の字に辿り着きたいでしょう。HTML 書類では「検索」の機能が使えますので、以下のように使ってください。

プルダウンメニュー「編集」から「このページの検索」を選ぶと、ワーク

シート画面が出ます。此处に知りたい漢字を打込んで、「エンター」キーを押すと目的の感じの場所に「ハイライト」が掛かります。

此处をダブルクリックすれば、「リンク」が張ってありますので、所望の頁が開きます。周辺に置かれた漢字も一緒に調べると良いでしょう。

### 検索する時の漢字を上手に打込みたい。

「検索」ワークシートに打込む漢字の「訓読み」を知っていたら、其れを打込んで変換しましょう。漢字単体の「音読み」で探すより変換候補が少なくなり、早く所望の漢字に辿り着けます。また、調べたい漢字を使った熟語を知っていたら、其れを利用すると良いでしょう。此の方法も変換候補の数を大きく減少させます。不要な漢字を消去してから検索してください。

読み方が分からない時、Windows の場合には「IME パッド」を使います。「部首」から探しても、「総画数」で探しても良いのですが、「手書き」で探すのが良いでしょう。